

中小企業成長支援ファンド

「MCP5 投資事業有限責任組合」に出資を行う組合契約を締結

独立行政法人中小企業基盤整備機構（略称：中小機構 所在地：東京都港区 理事長：高田坦史）は、新事業開拓促進出資事業（ファンド出資事業）において、平成29年7月31日に施行された、「地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律（地域未来投資促進法）」に基づき、地域の特性を生かした成長性の高い新たな分野に挑戦する取組を支援するためのファンドとして、コバルトインベストメント(株)を無限責任組合員とする投資事業有限責任組合に対し、中小機構出資分として60億円を出資することで合意し、組合契約を締結しました。

「MCP5 投資事業有限責任組合」（以下、「本組合」）は、事業承継等の経営課題を抱える国内中堅・中小企業に対して、バイアウト投資を行い、投資後は後継者の招聘・育成、経営管理の高度化、販路拡大等を支援し、企業価値向上を行っていきます。

ファンド総額は300億円で、うち中小機構が60億円を出資する他、みずほ銀行、地域金融機関、その他機関投資家等が出資します。ファンド運営はコバルトインベストメント株式会社、業務受託・投資助言はみずほキャピタルパートナーズ株式会社が行います。

中小機構では、本組合への出資を通じて、国内中堅・中小企業の事業承継や成長戦略の実現を支援することにより、日本経済の活性化に貢献できるものと考えております。

<独立行政法人中小企業基盤整備機構（中小機構）>

中小機構は、日本の中小企業政策の総合的かつ中核的な実施機関として、全国の中小企業への支援をトータルで行う経済産業省所管の独立行政法人です。生産性向上や事業承継など様々な課題を抱える中小企業に対して、販路開拓、海外展開、人材育成、事業引継ぎ、その他経営面での助言、情報提供、並びに共済制度、ファンドを通じた資金提供など多様な支援を実施しています。

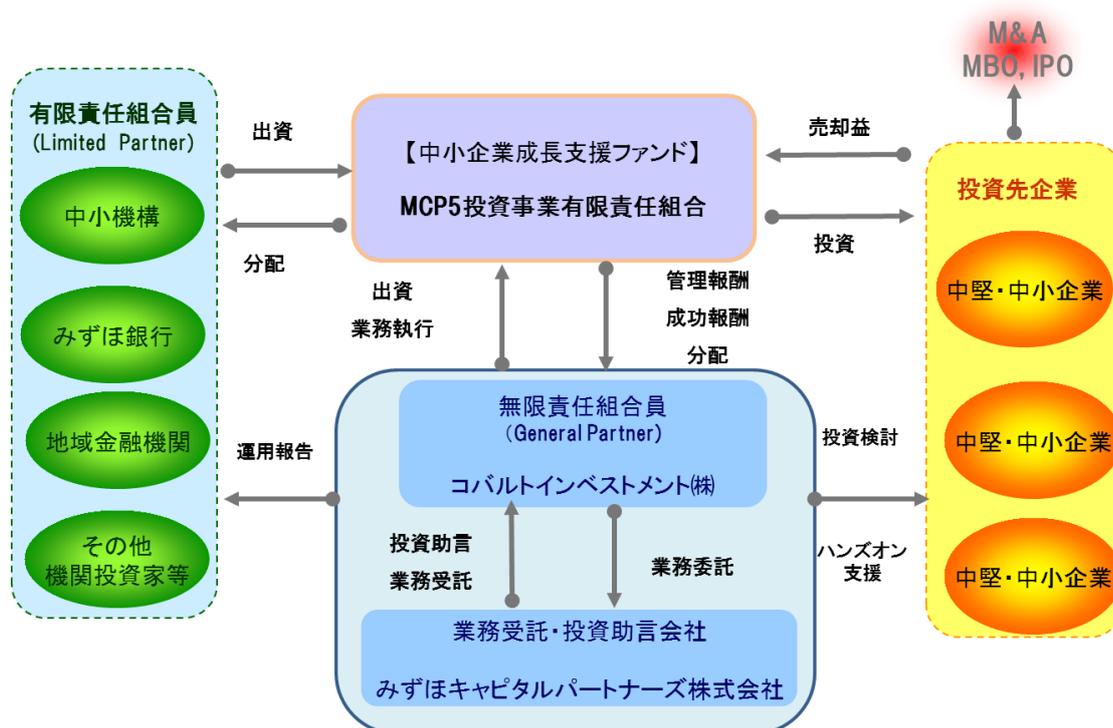
<本件に関するお問い合わせ先>

独立行政法人 中小企業基盤整備機構
ファンド事業部 ファンド事業課（担当者：井上、石澤）
住所：東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル
電話：03-5470-1570（ダイヤルイン）

◆ 「MCP5 投資事業有限責任組合」の概要

- 「MCP5 投資事業有限責任組合」は、コバルトインベストメント(株)(所在地:東京都千代田区、代表取締役:新島 裕子氏)を無限責任組合員として、平成30年1月19日に設立された投資ファンドです。
- 本組合では、事業承継問題等の経営課題を抱える中堅・中小企業を投資対象とし、原則、過半数の株式を取得するバイアウト投資を行い、経営に積極的に関与するハンズオン支援を通じて、投資先企業の企業価値向上を図っていく方針です。

<スキーム図>



<制度の内容及び実績について>

中小企業成長支援ファンドについて

http://www.smrj.go.jp/doc/supporter/supportter_fund_investment_02.pdf

中小機構ファンド事業出資実績

http://www.smrj.go.jp/doc/supporter/supportter_fund_investment_04.pdf